

全日本民衆と全世界の人びとへの訴え

日本におけるファシスト勢力の選挙勝利、壊憲危機にあたって

2026年2月8日強行実施された日本の総選挙において、高市首相が、日本で最初の女性総理であると言うだけで、メディアの支援もあって、その本質を見抜かれることがなく、恐るべき壊憲勢力が大勝しました。これは、日本型ファシズムの始まりとなる、非常に危険な明文壊憲の始まりとなるおそれを意味します。日本型ファシズムは、「台湾有事」を「日本有事」だとする誤った観念によって、恐るべき対中戦争を開始し、ひいては世界大戦に導きかねない恐るべき戦争政策と繋がっています。「台湾有事」は、米国帝国主義者と日本軍国主義者の誤った台湾政策によって、容易に引き起こされる危険性をもっています。高市内閣は、「高市台湾発言」を撤回せず、それによって引き起こされた日中の危険な緊張状態は緩和されていません。日本国内では、異常な「嫌中」意識の高まりすら見られています。このような情勢の中で、高市内閣は、「国論を二分するほどの法律案の提出」を公言して、あからさまな違憲の方法での改憲提案を示唆してすらいます。

ヒロシマナガサキを経験した日本と世界は、戦争は、絶対に起こしてはならないことであるとして、戦争禁止は、日本国憲法と国連憲章の基本思想となっています。日本国憲法は今や世界憲法であるべきです。しかし、国連憲章 51 条は、すでに戦争禁止に風穴を開けるものとなっています。そのような状態の中で、日本国憲法は、米日政府によって踏みにじられては来ましたが、明文改悪はされずに、日本と世界の戦争の危機を防ぐ「希望の光」、灯台となっています。

日本と世界のみなさん 日本と世界の戦争の危機を防ぐ灯台日本国憲法が、日本型ファシストによって今破壊される危機に瀕しています。

どうか、世界と日本を核戦争の危機から救う最後の灯台日本国憲法を、日本型ファシストの破壊の手から救うために、力を貸してください！

高市ファシズム内閣から、「世界の希望」日本国憲法を救うために、お力をお貸してください。壊憲阻止のために、ただちに立ち上がってください。心から心からお願い致します。

2026年2月11日 沖縄・日本から米軍基地をなくす草の根運動

共同代表 小湊忍（日本ユーラシア協会） 中正勇（沖縄詩人会議）

平山知子（弁護士） 平山基生（草の根運動事務局長）

2026年2月21日

沖縄日本から米軍基地をなくす草の根運動 2026年総会